

すまみお



はじめに

建物の表というのは顔ですので、そこまでしなくてもいいだろうという位、綺麗になっていたり立派な門構えになっていたりします。

建物の裏は、表から見えないという点で自由度はまし、あまり人目に触れられたくない空間になっているかと思います。

すきまは、その狭さ故に手入れも難しい、かといって裏と同じように自由度が高いわけでもない。
しかし裏ではないので、部外者の立ち入りを受け入れることもある。実に絶妙なポジションなのです。

そんなすきまにスポットライトを当てた写真集です。



カメラ:Olympus PEN EES2



カメラ : Olympus PEN EES2
頑丈に鍵をかけられたすきま。大きめのすきまでよくある光景。



カメラ：Olympus PEN EES2

すきまと呼ぶには多少広すぎるすきま。そのために入り口はがっちりガード。



カメラ : Olympus PEN EES2

これも広めのすきま。手前のガスメーターまでは素直に入れるが、さらにその先でガード。



カメラ : Olympus PEN EES2
すきまに置かれたシャッターの柱。細長いものを置くのに最適な空間。



カメラ:Olympus PEN EES2

片方が金網になっているために日当たりのよいすきま。しかし佇まいはすきま然としている。



カメラ : Olympus PEN EES2

シンプルなすきまではあるが、そこにある配管、左右で色の違う壁、そしてメーター。
趣きのあるすきまである。



カメラ : Olympus PEN EES2

適当なパーツで作られたさくの向こう側には実にすきまらしいパーツの数々。
そして両サイドの壁のギャップ、この乱雑さがすきまの良さを引き出している。



カメラ : Olympus PEN EES2

すでに役目を終えたメーターと、まだまだ現役で働くメーター。すきまで垣間見える歴史。



カメラ : Olympus PEN EES2
すきまの向こうにかすかに見えるすきま。



カメラ : Olympus PEN EES2
すきまへの侵入を拒むものがメーター。機能美である。



カメラ : Olympus PEN EES2

完全に目隠しをされたすきま。その向こうに何があるのか、想像をかきたてられる。



カメラ：Olympus PEN EES2

このすきまに誰が入るのだろうか。誰が入るのかではなく、誰かが入るのを拒むための柵。
シンプルで無骨な作りの中にも味がある。



カメラ：Olympus PEN EES2

両サイドから緑に覆われたすきま。柵で覆うのではなく緑で覆う。美しいすきま。



カメラ:Olympus E-3

あまりにも狭すぎたすきま。段違いで取り付けられたメーターがその狭さを物語る。



カメラ : Olympus E-P1

物置と化すすきま。しかし細長い空間には細長いものしか置けず。



カメラ : Olympus E-P1

すきまに存在するにはあまりにも大きすぎるモノ。空から降ってきたのか、あえて誰かがここに配置したのか。



カメラ : Olympus E-P1

新しめのすきま。空高く登っていく配管のラインが美しい。



カメラ : Olympus E-3

実に見ごたえのあるすきま。メーター、配管、ガスボンベ。そして空から注ぐ光。
これぞすきまといってもいい程のすきまである。



カメラ : Olympus E-3

すきまの向こうに積み上げられたゴミの山。
このすきまからは、その一部を切り取ってみることしかできない。



カメラ：Olympus PEN EES2

鬱蒼と茂る植物と、自然が生み出した壁のテクスチャ。
人が足を踏み入れにくいすきまならではの風景と言えるのではないだろうか。